



2月のえんだより

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会
中宮まぶね保育園
〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1
TEL072-840-2780 FAX072-840-3212
E-mail nakamiya-encho@koinonia.or.jp
URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

2026年2月2日(月)

1月31日(土)に行われた「第11回生活発表会」、子ども達を温かく見守って下さり、どうもありがとうございました！
一生懸命に頑張る姿は、とても可愛らしく、また成長を感じ、目頭が熱くなりましたね…。
「お父さん・お母さんにかっこいいと見てもらうんだ！」って思いを励みに当日まで頑張ってきた子ども達です。恥ずかしくて日頃の力を十分発揮できなかったり、思わぬハプニングもありましたが、当日の結果で判断するのではなく、生活発表会までの取り組み経過の中で、子ども達はいろいろな経験を重ね、たくさんの学びや力をつけてきました。
生活発表会のあと、お家に帰って、子ども達の頑張りをいっぱい褒めていただきましたでしょうか？
この自分達の頑張った事を認めてもらえた経験が、今後の子ども達の自信に繋がり、次の成長への大きなステップになっていきます。自己肯定感を育んでいく事に繋がります。
これからも、子ども達の心身共にすくすく成長していく事を願って、毎日いろいろ大変な事もありますが、みんなで温かく・楽しく見守っていかれたらと思います！
2月は、まだまだ寒い日が続きますが、感染症等に気を付けながら、戸外にもどんどん出て、寒い季節ならではの遊びも取り組んでいきます。
また、3月13日に、とんぼ組の卒園式をお遊戯室で開きます。とても寂しいですが、これから卒園に向けての準備も少しずつ進めていきます。
今月も、子ども達の楽しい笑い声がたっぷりの日々が送れるよう、職員一同努力していきます。
どうぞよろしくお願い致します。

園長 山本真理子

《法人の理念》
本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて福祉サービスを必要とするすべての人に仕え日常を支援し、常に人々の人権を護りその人の尊厳を尊重します

《保育園がめざす子ども像》
◆ 自分で考え意欲を持って行動する子ども
◆ 相手を思いやることのできる子ども
◆ 豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

苦情解決委員会

◎苦情解決責任者 山本真理子
◎苦情解決窓口担当 山本真理子
◎苦情解決第三者委員
畑 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子
※意見箱は玄関ホールに設置
園に対する苦情やご質問・ご要望を受け付けております。又、子育てやそれらに関するご相談も随時受け付けております。

2月生まれのお友だち



2月

2026

日	月	火	水	木	金	土
1	2 体育あそび教室	3 節分	4 太鼓教室 ふれあい (地域子育て支援)	5 避難訓練	6	7 生活発表会 予備日
8	9 体育あそび教室 五感食育	10 0歳児クラス懇談会	11	12 リトミック教室 (4・5歳) 1歳児クラス懇談会	13 布団乾燥 2歳児クラス懇談会	14
15	16 体育あそび教室 3歳児クラス懇談会	17 英語あそび教室 4歳児クラス懇談会	18 太鼓教室 新入園児説明会 (0・1歳)	19 リトミック教室 (2・3歳)	20 新入園児説明会 (2歳以上)	21
22 冬祭	23	24 英語あそび教室 5歳児クラス懇談会	25 誕生会	26 びよびよ (地域子育て支援)	27 お別れ遠足 布団乾燥	28
1	2	3	4	5	6	7

「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」

幼い頃の記憶というものは、あいまいなこともありますし、すっかり忘れてしまっていることもあります。しかし、そのような意識もできないような「心の根っこ」の部分こそが、一人一人の人格の基礎になります。そして、日々の保育はその部分を豊かに育おことを目指して行われています。そこに必要なのは、まず自分が「愛される」という経験です。保育園や家庭で「生まれて来てくれてありがとう」「いっしょに居てくれてありがとう」と言われ、自分が受け入れられ、抱きしめられる経験が、自分が「愛された」経験として、子どもたちの「心の根っこ」を豊かに育んでいくのだと思います。「愛」という日本語からは、限られた相手との関係性が連想されますし、具体的にはどうすることなのか分かりにくいかもしれません。しかし、聖書の「愛」とは、もっと広く、具体的に「人を大切にすること」です。イエス様は「あなた方は互いに大切にし合いなさい」と言われる前に、「私があなた方を大切にしたいように」と言われました。一人だけで生きていられている人はいません。誰もが多かれ少なかれ、何かしら人から助けられ、大切にされているからこそ、今を生きていられるのだと思います。だから、不安に思わなくても大丈夫。大人も子どもも「大切にされた」経験があつてこそ、周りの人も大切にすることができるのだと思います。保育園でもご家庭でも、互いに大切にする日々を過ごしていきます。

チャブレン・牛田匡